

JASCT

ニューズレター

第10巻第2号

平成3年(1991年)6月

発行人: 松本清一 印刷所: 絢文社

第11回 日本性科学学会のご案内

開催日時 平成3年9月8日(日) 午前9時～午後5時
会場 浦安市文化会館
学会長 阿部輝夫(順天堂大学助教授・精神科)
事務局 〒279 浦安市富岡2-1-1

順天堂大学浦安病院精神科医局内

Tel 0473-53-3111

Fax 0473-80-3693

§ 特別講演

① 西園昌久 (福岡大学精神科教授)

「フロイトと性」

② 下坂幸三 (下坂クリニック)

「食と性の関連」 — 摂食障害を例証として —

§ 会長講演

セックスレスの現状分析

Vol. 10

№
2

JASCT 事務局

〒107 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

Sexology 事始め(第17回)

キャバレー事始め

埼玉県衛生短期大学講師 石 濱 淳 美

キャバレーとは、天井までふき抜けるホールを中心に、各階にギャラリー式に客席を配し、ホールの正面または中央にステージを設け、バンドをおいてダンスが出来るようにした特種飲食店のことである。

もともとは民衆の慰安の場として発達したもので、古くは居酒屋もこれに当る。フランス語の estaminet (珈琲店), bar (バー), assomoir (アッソモワール居酒屋) なども同義語である。

また上品なレストランなどでも、当時大部分がキャバレーと名をつけていたといわれる。

歴史的に有名なのは、フランスのノートルダム附近にあった、ポーム・ド・パン (pomme de pin)〈松かさ〉などで、ヴィヨン・ラブレールら常連が集っていたといわれている。

イギリスのロンドンにあった swan 〈白鳥〉は、ここでシェークスピアが『ヘンリー4世』を書いたといわれている。

またゲートはライブチッヒの有名なキャバレー〈穴ぐら〉で、『のみの歌』を書いたといわれている。またこの頃多くの画家達がキャバレーに集り、19世紀になると芸術的キャバレーなるものも現われた。パリのモンパルナスなどに現われた〈黒猫〉〈かっ色の月〉〈競馬騎手〉〈2匹のロバ〉などといった有名な芸術的キャバレーが出現し、そのステージで唄った歌手が、シャンソン歌手の始まりといわれている。

日本におけるキャバレー事始めは、終戦後の昭和20年(1945) 米兵相手に設立された特種慰安協会(RAA)によって、東京に誕生したのが始まりである。

一般向きには、翌1946年頃からそれまでのバー、カフェ、ダンスホールを総合したものが、キャバレーと銘うって続々誕生した。

1954年に発令された東京都条令によると、キャバレーとは「バンドまたはホールを設備し、客にダンスをさせ、または接客をし、客に飲食をさせるもの」となっている。

営業許可基準としては、最低20坪の客室を有し、3ルクス以上の照明設備をもち、営業は午後5時より11時半までと制限されていた。

またキャバレーとナイトクラブの違いは、前者はダンサーをおき、後者ではこれをおかないというものである。すなわち、ナイトクラブでは、客は同伴で飲食したりダンスをするところとされている。

しかしわが国のこうした場所の状況をみると、ナイトクラブにも接客婦がおり、狭いフロアでダンスをしており、この両者の区別は混沌としている。要は規模の大小のようで、ちょうどベッド数20床以上が病院で、19床以下が診療所というのに似ている。

また昭和33年の売春禁止法以後は、自由恋愛と称して、こうした場所に女を求めるようになったのも、わが国性風俗の大きな変化である。

この場合、あくまで個人交渉であるから、売春禁止法がザル法といわれたゆえんもここにある。

こうした大規模のキャバレーは、都市の土地の高騰などにより、経営が苦しくなり1980年代に入ると、めっきり姿を消してしまい、つい最近も銀座で有名なキャバレーがその灯を消している。

国際学会のお知らせ

第10回世界性科学会会議

日時 1991年6月18日～22日

場所 オランダ アムステルダム

主催 World Association for Sexology
(WAS)

第34回性科学会総会

日時 1991年11月7日～10日

場所 アメリカ合衆国 ニューオルリンズ

主催 The Society for the Scientific
Study for Sex (SSSS)

※詳細はJASCT事務局にお問い合わせ下さい。

国内学会のお知らせ

第2回日本インポテンス学会

日時 1991年9月6日～7日

場所 コクヨホール(東京都港区港南1-8-35)

会長 長田 尚夫(聖マリアンナ医科大学泌尿器科学教室)

プログラム

招 請 講 演

高齢期の性とQuality of Life 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教授 長谷川和夫 先生
シンポジウム

高齢者における性機能 司会：札幌医科大学泌尿器科学教授 熊本 悦明 先生

東京大学医学部老年病学教授 折茂 肇 先生

インポテンス治療の現況と問題点 司会：昭和大学藤が丘病院泌尿器科学教授 甲斐 祥生 先生

琉球大学精神衛生学教授 石津 宏 先生

パネルディスカッション

勃起と神経伝達物質 司会：新潟大学医学部解剖学第3教室教授 藤田 恒夫 先生

東邦大学医学部泌尿器科学助教授 石井 延久 先生

卒後・生涯教育プログラム

陰茎プロステシス挿入手術 司会：聖路加国際病院副院長 岡本 重禮 先生

※詳細は聖マリアンナ医科大学泌尿器科教室(☎044-977-8111(代))
までお問い合わせ下さい。

ニュースレターへ投稿して下さい

ニュースレターは会員皆様のものです。そこで会員の声ともいえるべきスペースを作って、お互のコミュニケーションを密接にしてゆきたいと考えております。性に関するご意見、日常活動の様子など、情報交換の場になることを期待しております。どんなことでも結構ですから、お気軽にご投稿ください。

また、ニュースレターに関するご意見やご提案がありましたら、遠慮なく編集部までお寄せ下さい。

届 先 JASCT事務局 編集部

〒107 東京都港区南青山1-1-1

新青山ビル西館3F 長谷クリニック内

松本会長の叙勲

春の叙勲・松本会長に勲二等瑞宝章

この度、本会松本会長は、春の叙勲の栄をになわれました。

会長は、群馬大学教授、自治医科大学教授兼病院長その他厚生省、文部省の委員など歴任され、現在群馬大学名誉教授、自治医科大学看護短期大学学長としてお働きになっていますが、この度勲二等瑞宝章を受けられました。

今回の叙勲は、月経異常に関する研究他多数、国、地方の医療行政への貢献、関連学会の長として国内外における学術の振興と国際交流への尽力、医学、看護学を志す子弟の育成、我が国初の思春期外来の設立等、我が国はもとより、世界的第一任者としての永年にわたる産婦人科学の分野での多大な業績と尽力が高く評価されたものです。心からお祝いしたいと存じます。また、1995年の8月20日より8月26日まで日本で世界性科学会（WAS）が行なわれることが内定しており、その時の会長もつとめられる予定です。

新入会員
